

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」塩尻校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	限られたスペースの中で、パーティションを使用し、個別の空間を確保しています。	個別療育に必要なスペースを今後も確保できるようにしていきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		法で定められた人数を配置しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	個別療育ができるようにパーティションで区切って、1人1人が集中できるスペースにしています。	防音マットを敷いていますが、転倒など無いように足元への注意と配慮を常に心がけております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		行事ごと壁面の飾りを変えています。感染症予防の為のアルコール消毒、空気清浄機の設置を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的に事業所内での会議を行い、職員同士の情報共有と業務の改善を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所評価のアンケートの時だけでなく随時、保護者様から意向などをこまめにお聞きし、業務改善に努めております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	開所して、今回が初めての公開予定になります。	評価や改善の内容を事業所の会報等で行ってまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今回、利用者様・事業所内評価を行っております。	必要に応じて外部者評価の実施も検討していきたいと思っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修を行って、職員の資質向上に努めております。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		期間ごと、もしくは保護者様のお申し出により、アセスメントを行って、個別支援計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		共通のモニタリングシートを使用しています。	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様・お子様のご要望、ニーズに沿って、支援に必要な項目を選択しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別新計画を個人ファイルにファイリングし、プログラム作成時に確認しながら、作成しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的に会議を行い、情報を共有する中で立案を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様 1 人 1 人の特性やその時々のご様子に合わせたプログラムを作成しております。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		支援後のフィードバックやモニタリング、相談支援などの情報を元に個別療育と集団療育のプログラム計画を立てています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を実施し、お子様の支援の様子や担当などを職員間で情報共有をし、その日の確認を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		夕礼を実施し、当日支援を行ったお子様の担当より変化やご様子など情報共有をしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援の記録は、その日もしくは次の日までに記録し、日々の改善につなげるようにしています。	
	⑳	定期的にもニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行い、児童の成長に合わせた計画の見直しをしています。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者をはじめ職員が参加しています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		健康づくり課と連絡を取り、情報共有を行っています。	
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		関係の相談支援事業所、学校、家庭支援課との連絡体制を取っています。	

の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアの保護者様、相談支援事業所との連絡体制に加え、必要に応じて主治医や協力医療機関との連絡を取れるようにしています。	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園、保育園の見学等をさせていただき、情報の共有と相互理解を図っています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援者会議等で、情報共有を行うようにしています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所や専門機関と連絡を取り合っており、助言をいただいたり、研修の機会をいただいています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在は活動機会が設けられていませんが、ご要望などございましたら、機会を作っていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		機会がありましたら、積極的に参加していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援終了後のフィードバックや相談支援で時間を設けています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		フィードバック時や相談支援、保護者交流会の時など、家庭での対応などを検討し、助言させていただいています。	
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に時間をとって説明させていただいています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいた個別支援計画を作成し、保護者にご説明の後、同意、署名をいただいています。	
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回のフィードバック、個別での相談支援を行っています。		
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者交流会を行っており、保護者同士の連携を支援しています。		
③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		毎回のフィードバックでの情報共有を行い、相談や申し入れにすぐに対応できるように体制を整えています。		

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		きりだより、Instagram、HP のブログや LINE など、こまめに情報の公開や発信・連絡をしています。	
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類のファイル等は、カギ付きの書庫に保管しております。	
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		理解できるような言葉を選んでの声かけ、視覚的な説明を用いて、お子様や保護者様が理解できるまで、時間をかけて伝達を行っています。	
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		体験や見学会、地域の方が足を運びやすい事業運営を心がけています。	
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定しており、定期的な訓練と研修を行っております。	
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に 1 回の避難訓練を行っています。	今後は児童を含めた避難訓練も実施していきます。
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談時にお子様の状況の確認を行っています。てんかん発作等については、緊急時の対応を職員全体で周知しています。	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		面談時にアレルギーの有無を確認しておりますが、現在、食事の提供は行っておりません。	
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員全員で、各事態でのヒヤリハットが起きた時に報告を上げてもらっています。	
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する責任者を定め、責任者を中心とした研修、伝達を行っています。	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		マニュアルを策定し、必要のあるご家庭については、契約時に身体拘束に関わる同意書を依頼しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」塩尻 校

保護者等数（児童数）：12 回収数：12 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	0		限られたスペースの中で、パーティションを使用し、個別の空間を確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	2		法で定められた人数を配置しております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	3	0	1	完全個室ではないので、2組で療育の際には、どうしても互いのエリアを行き来してしまい、本来やるべき自分の療育に集中できず、注意が散漫してしまう。	限られたスペースの中で、行っている為、集中できにくい部分もありましたが、療育プログラムの間は、集中力を養えるよう支援室の配置換えをいたしました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	0	0		行事ごと壁面の飾りを変えています。感染症予防の為のアルコール消毒、空気清浄機の設置を行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	4		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1	0	1	その日のプログラム以外の子どもが好きな遊びに費やす時間が多くなくなってしまっていないか不安	プログラム以外の時間には、お子様の好きな遊びを行い、お楽しみの時間を取っています。好きな遊びだけではなく、お子様が未経験の遊びや教材を入れていきたいと思えます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	4	3		現在は活動機会が設けられていませんが、ご要望などございましたら、機会を作っていきます。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	0	0	1		保護者様・お子様のご要望、ニーズに沿って、支援に必要な項目を選択しています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	2	0	2	障害の診断がおりていないため、特性に沿ったプログラムではないと思う。グレーゾーンでは、アドバイスし辛い。	保護者様と再度、支援の方向性の検討を行い、プログラムや家族支援の関わり方を改めていきたいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	0	0	3		定期的に保護者交流会を行っており、保護者同士の連携を支援しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	1		毎回のフィードバックでの情報共有を行い、相談や申し入れにすぐに対応できるように体制を整えています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1	0	0		きりだより、Instagram、HP のブログや LINE など、こまめに情報の公開や発信・連絡をしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	0	1	1		マニュアルを策定しており、定期的な訓練と研修を行っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	1	7	訓練の日に当たったことがないのでよくわからないが、きちんと実施していると思っている。	今年から、お子様も含めた避難訓練を行いますので、実施日のご連絡とお声かけをさせていただきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。